

C O N C E P T

世界が注目する、 日本の福祉を学ぶ。

世界でも類を見ない社会を、日本は迎えています。
だからこそ、日本の福祉を学ぶことには、大きな意味があります。

福祉は、「困っている人を助ける学問」ではありません。
未来の社会をつくる学問です。

FOUR PERSPECTIVES

01 日本は世界の「最前線」

世界がまだ経験していない社会を、
日本はすでに歩んでいます。

世界最高水準の高齢化 / 少子化 / 人口減少
単身世帯の増加 / 地域コミュニティの変化

—— 日本は「未来の世界」を先に経験している国。

02 世界に冠する、日本の福祉

福祉先進国＝北欧というのは、
高負担・高福祉の制度設計によるイメージです。
価値・文化・歴史を踏まえた、福祉体制の構築が求められます。

社会保障・社会福祉制度 / 国民皆保険 / 国民皆年金

—— 世界の最前線で学ぶ、福祉のあり方。

03 福祉は「人間」を学ぶ学問

人生で出会う"困りごと"を、
理解する力になります。

孤独・孤立 / 貧困 / 子育て / 家族 / 障害 / 認知症 / 医療 /
災害 / 地域 / 健康 / 働き方 / 多様性 etc

—— 誰もが人生で出会う可能性がある問題。

04 一生、役立つ学び

福祉職になるためだけの学びではありません。
どんな仕事・人生にも生きる力です。

聴く力 / 課題発見 / 合意形成 / チーム力
データ読解 / 制度理解 / 多様性の尊重

—— 自分自身を支える力に。

M E S S A G E

人生100年時代。
福祉は、仕事よりも長く、
あなたの人生を支えてくれる学びです。